

平成29年度三重県キャリア教育フォーラムまとめ

- 1 日時 平成30年2月13日（火）13時00分から16時40分まで
- 2 場所 三重県庁講堂（津市広明町13番地）
- 3 参加者 191人
（感謝状贈呈事業所：26人、事業所・関係機関：31人、小中学校：42人、市町等教育委員会：21人、高等学校・特別支援学校：81人）

4 内容

【第1部】13時00分～13時50分

○平成29年度職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈式

県教育委員会では、職場体験やインターンシップ等を通じて、児童生徒の勤労観・職業観の育成や学習意欲の向上に貢献していただいた事業所に対して、平成19年度から感謝状を贈呈しています。

本年度は感謝状「職場体験・インターンシップ等」部門に23事業所、「デュアルシステム」部門に3事業所、特別感謝状を6事業所に贈呈することとし、当日は24事業所（感謝状：20事業所、特別感謝状：4事業所）が出席し、廣田恵子教育長から感謝状を贈呈しました。

贈呈された事業所を代表して、道の駅奥伊勢おおい株式会社駅長の濱井幸太郎様から、「子どもたちの成長を願うとともに、職場体験は子どもだけでなく、受け入れる側にも成長があり、今後も地域貢献のひとつとして職場体験を受け入れていきたい。」という御言葉をいただきました。



特別感謝状記念品 協力：伊賀白鳳高校、伊勢工業高校、白子高校

【第2部】14時15分～16時40分

○キャリア教育実践発表

「日々の学びを将来へとつなげるキャリア教育～子どもの成長をどうとらえるか～」をテーマに、地域の人材育成に尽力していただいている熊野商工会議所と、平成29年度キャリア教育文部科学大臣表彰を受賞した四日市市立山手中学校、津市立美杉中学校、三重県立南伊勢高等学校南勢校舎から実践発表をしていただきました。

<発表団体・学校>

- ・「相互成長～未来を担う子どもたちも社会の一員、共に地域課題に挑む!～」

熊野商工会議所 経営指導員 伊東 裕将

- ・「キャリア教育の視点を取り入れた教育活動」

四日市市立山手中学校 校長 加藤 公章

- ・「地域資源を活用した系統的なキャリア教育の実践

～修学旅行での販売学習活動を通して～

津市立美杉中学校 校長 伊藤 利治、教頭 上嶋 和哉

- ・「地域と連携したキャリア教育」

三重県立南伊勢高等学校南勢校舎 教頭 森田 知寿



熊野商工会議所

林業体験等を通して熊野の地域産業への理解深化と課題解決への挑戦

キャリア教育の視点での学校カリキュラムの再構築と地域人材を活用した取組



四日市市立山手中学校



津市立美杉中学校

修学旅行（東京）でのちいきの地域の特産物を活用した販売活動を中心にした発表

Myゼロパック、たいみー焼き等、学校・地域・行政等と連携した取組



三重県立南伊勢高等学校南勢校舎

<感想>

- ・ キャリア教育に取り組むにあたり、何を目的として、どんな子どもを育てたいのかを明確にして、実施することの大切さを実感した。
- ・ 熊野商工会議所の地域を思う心に感動した。熊野商工会議所の発表にあったように、大人が子どものことを思って準備したことは、必ず子どもの心に残っていると思う。
- ・ 山手中学校の取組は、大規模校に関わらず、キャリア教育の視点を核にした取組で、しっかりと学びたいと思った。「キャリア教育3年間の流れ」は言葉だけでなく、資格で確認でき、とてもわかりやすい。
- ・ 美杉中学校の修学旅行での販売学習活動では、様々な活動が取り入れられており、有機的につながっているところが素晴らしいと思った。子どもに生き抜いていく力を育てるうえで可能性を秘めていた。産・学・官が連携した取組で温かさを感じた。
- ・ 南伊勢高校のような地域密着のキャリア教育はとても意義があることだと思った。高校のキャリア教育を固定観念ではなく、今まで歩んできた道を再確認し、新たな道へと進んでいくためのものという考え方が印象に残った。